

ベネクス、箱根駅伝出場を目指す「筑波大学男子駅伝チーム」を支援 オフィシャルリカバリーウェアサプライヤー契約締結 休養とパフォーマンスに関する共同研究も開始

休養時専用の「リカバリーウェア」を開発、製造、販売する株式会社ベネクス（所在地：神奈川県厚木市、代表取締役：中村太一、以下、当社）は、現在第99回箱根駅伝2023出場を目指す筑波大学の陸上競技部男子駅伝チームと2022年4月にオフィシャルリカバリーウェアサプライヤー契約を締結しました。

また6月に、サポートの一環として第2回目となる休養セミナーを開催しました。さらに、2022年7月よりリカバリーウェア使用前後の選手の生活行動データの分析を通して、より良い「パフォーマンス」の最大化に貢献する休養ソリューションの提供を目指し、共同研究を開始します。



〈2022年6月
休養セミナー開催時の様子〉

■ 契約締結と共同研究の背景

このたび当社は、筑波大学陸上競技部男子駅伝チームが再び箱根駅伝出場することを目標にスタートした「#箱根駅伝復活プロジェクト」を応援するべく、2022年4月にオフィシャルリカバリーウェアサプライヤー契約を締結しました。所属する48名に対してリカバリーウェアの提供や「休養」に関するセミナーなどを通して、休養面でのサポートをしております。

当社は産学公の連携事業としてリカバリーウェアを開発しており、筑波大学とは2016年に共同研究を実施し、その際は「ベネクスリカバリーウェアを就寝時に着用することでアスリートのストレス軽減とコンディションが向上した」という結果を発表しました。このたびはより細かな視点から「休養」と「パフォーマンス」の関係性を調査してまいります。

2022年10月に行われる第99回箱根駅伝2023予選会に向けて4月よりセミナーを開催し、6月で第2回目を終えました。その際、休養やベネクスリカバリーウェアの使用方法などの講義を行い、選手やスタッフの皆様にご理解を深めていただく場となり、現在練習後や休息時など日頃のケアに使用いただいております。今後共同研究を通して選手の生活行動データを分析し、チームのさらなる活躍と目標である箱根駅伝出場の実現を応援します。

今後も当社は、国内外で活躍するスポーツチームやアスリートへのサポートを通して、スポーツ業界のより一層の発展を「休養」で応援し続けます。

■筑波大学 陸上競技部男子箱根駅伝チーム 監督：弘山 勉 様 コメント

長距離走の競技力（競技パフォーマンス）は、トレーニングの積み重ねでしか高まりません。その積み重ねとは、トレーニングによって破壊されるカラダ（身体組織）を休息で回復させることを繰り返して、カラダをグレードアップすることを意味します。箱根駅伝は、競技レベルが年々上がり続けており、本戦に出場するために突破しなければならない予選会もまたハイレベルな群雄割拠の状態になっています。高校時代に実績のある選手が集まるわけではない筑波大学では、トレーニングの充実を図ることでは箱根駅伝への道を拓くことができません。しかし、実情は、カラダの器を超えたトレーニングが続くために、オーバートレーニング状態となり、スポーツ障害を発症するケースが多くなってしまいます。そこで重要なのが、スポーツ科学の利用です。走力の低い選手がハーフマラソンをしっかりと走破できるまでに成長するのは、トレーニングの効率化ではなく、回復力の向上だと思えます。

そういう意味で、ベネクス様との取り組みは心強くなります。自律神経に着眼したコンディショニングの機能性を有するアイテム（リカバリーウェア）を活用していくことで、ヒトに本来備わる回復力の発揮が期待されます。これからは、箱根駅伝予選会に向けてトレーニングはますます厳しさを増していきます。ベネクス様のお力をお借りしながら、学生たちが最大限の努力を続けていくことで、予選突破を手繰り寄せたいと思えます。

■株式会社ベネクス 取締役副社長：片野 秀樹 コメント

箱根駅伝の創設者が、NHK 大河ドラマ「いだてん」の主人公「日本のマラソンの父」東京高等師範学校の金栗四三。そして、この金栗が、第一回箱根駅伝で東京高等師範学校を優勝へと導いたと知りました。東京高等師範学校は、筑波大学の前身です。

このような伝統を背負い、後輩たちが国立大学の限界を乗り越えてタスキをつなごうと「箱根駅伝復活プロジェクト」がスタートしたと聞きました。今回株式会社ベネクスは、筑波大学陸上競技部男子駅伝チームとオフィシャルリカバリーウェアサプライヤー契約を締結し、困難にチャレンジする選手たちを休養分野からサポートさせていただくことになりました。

令和の「いだてん」たちが、最良の休養により最高のパフォーマンスを発揮し、晴れの舞台に向かって活躍することを、全社をあげて願っております。

【筑波大学 陸上競技部 男子駅伝チームについて】 <http://tsukuba-hakone.win/>

筑波大学は 1920 年に開催された箱根駅伝第 1 回大会で優勝し、これまで全 61 回の出場経験を持つ強豪校です。2020 年開催の第 96 回大会では 26 年ぶりの出場を果たしました。筑波大学の「#箱根駅伝復活プロジェクト」では、高い競技能力と倫理観、スポーツ愛好精神に加え、高い教養と知的探究心をもって自身の能力開発を進め、将来的にはその経験を活かして社会に貢献できるよう成長することを目指しています。

現在所属選手は 48 名で、2022 年 10 月 23 日に行われる第 99 回箱根駅伝 2023 予選会に向けて日々努力を重ねています。

【ベネクスについて】

健康のための 3 大要素「運動」「栄養」「休養」の中で、パフォーマンスを向上させるために必要な「休養」に着目。休養時専用の「リカバリーウェア」の開発、製造、販売を行っています。創業は「床ずれ予防マットレス」を開発、販売する介護用品メーカーとしてスタート。現在は、ケアという発想に基づいたリカバリーに関わる商品開発を行っています。

「人間が本来持っている自己回復力を最大限に発揮させること」をコンセプトに、東海大学、神奈川県、当社との産学公連携事業により誕生した「リカバリーウェア」は、エビデンス（科学的根拠）の取得や安全性を重視した開発を行い、「休養時専用ウェア」として 2010 年 2 月の発売以降、疲労回復や安眠のサポートを目的として日本代表選手らスポーツ関係者はじめ多くの方に愛用されています。現在は、豊富な商品展開を行い、全国の主要百貨店やオンラインショップで販売。これまでにシリーズ累計 140 万着（2022 年 6 月 15 日時点）の販売実績を記録するヒット商品となっています。

「ベネクスリカバリーウェア」は、2013 年にドイツで行われた世界最大のスポーツ用品見本市「ISPO」で日本企業初の金賞を受賞。また、2018 年 9 月には、「休養時専用ウェア」として、県民の未病改善の促進及び未病産業の市場拡大に向け、未病の見える化や未病の改善に貢献できる信頼性のある優れた商品・サービスを認定する神奈川県の「ME-BYO BRAND（未病ブランド）」にも認定されました。その翌年 2019 年には、日本健康医療学会から健康医療に役立っている製品を開発、生産、販売する会社、団体等に向けて贈られる「第 7 回 健康医療アワード」を受賞しています。

〈「ベネクスリカバリーウェア」の評価〉

スポーツ：2013 年「ISPO」金賞受賞

社会：2018 年「ME-BYO BRAND（未病ブランド）」認定

健康：2019 年「健康医療アワード」受賞

■「リカバリーウェア」を支える2つのメカニズム

1. 特殊繊維「PHT (Platinum Harmonized Technology)」

当社独自の先端テクノロジーを駆使し、ナノプラチナなどの鉱物（特許取得名称：DPV576）を繊維1本1本に練りこんで開発したポリエステル「PHT」繊維。この「PHT」を使用して作った「リカバリーウェア」は、休養時の体を優しく包み込み、体力が回復しやすい環境を整え、心身の“休養”をサポートします。

2. 休養時の着心地のよさを追求した仕様とデザイン

体を締め付けないノンコンプレッションデザインでゆったりとした着心地を実現。素材や縫製、カッティングにもこだわり、睡眠中、家でのリラックス時やスポーツ直後、移動中など、あらゆる休養シーンにおいて、ゆったりとした着心地で体に余計なストレスを感じさせない心地よさを追及しています。

【株式会社ベネクス 概要】

法人名： 株式会社ベネクス
代表： 代表取締役 中村 太一
所在地： 〒243-0018 神奈川県厚木市中町 4-4-13 浅岡ビル 4階
電話： 046-200-9288
設立： 2005年9月30日
事業内容： 休養・睡眠時専用「リカバリーウェア」の開発、製造、販売
ホームページ： <https://www.venex-j.co.jp/>

